

2026 年 8 月 7 日

昭和産業株式会社

2027 年 3 月期 第 1 四半期決算の発表について

昭和産業株式会社（代表取締役社長執行役員：塚越英行）の 2027 年 3 月期第 1 四半期連結決算は、売上高 92,379 百万円、営業利益 3,479 百万円、経常利益 4,378 百万円となりました。2027 年 3 月期連結業績予想については、売上高 350,000 百万円、営業利益 12,000 百万円、経常利益 14,000 百万円を見込んでおります。

【2027 年 3 月期第 1 四半期連結決算】

当第 1 四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境が緩やかに改善しているほか、インバウンド消費の拡大等により回復の兆しが見られました。しかしながら、物価上昇による消費者の節約志向の一層の高まりや、物流コスト・人件費の増加、中東情勢の動向による世界経済への影響に加え、各国の金融政策の動向に伴う金利・為替の変動等、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、持続的成長および企業価値向上を図るべく、2026 年 2 月に新たなグループ経営理念「ひと粒の可能性から、価値をひろげ、日々の幸せを共につくる。」を策定いたしました。この新理念体系のもと、創立 100 周年を迎える 2035 年度をターゲットとする長期ビジョン「SHOWA VISION 2035」および、長期ビジョンに基づく 4 カ年計画「中期経営計画 26 - 29」を策定し、その実現に向けて取り組んでまいります。

当第 1 四半期連結累計期間の経営成績は、連結売上高は 92,379 百万円と前年同期に比べ 7,732 百万円（9.1%）の増収となりました。営業利益は 3,479 百万円と前年同期に比べ 54 百万円（1.5%）の減益、経常利益は 4,378 百万円と前年同期に比べ 15 百万円（0.3%）の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は 2,891 百万円と前年同期に比べ 5 百万円（0.2%）の減益となりました。

【2027 年 3 月期連結業績予想】

第 2 四半期以降も不安定な国際情勢や為替相場の動向、物価上昇や物流コスト・人件費の増加など、当社グループを取り巻く経営環境は不透明な状況が続くものと予想されますが、2026 年 5 月 14 日に公表した 2027 年 3 月期（2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日）の連結業績予想につきまして変更はありません。

以 上